

平成30年度 第1回
高槻市社会資本総合整備計画評価委員会

「ともに支え合う安全・安心なまちづくり(防災・安全)」
「きれいな水と快適な暮らしを守る下水道」

中間評価

都市創造部 下水河川企画課

都市創造部 下水河川事業課

社会資本総合整備計画 中間評価について

計画の名称	高槻市 ともに支え合う安全・安心な まちづくり(防災・安全)	高槻市 きれいな水と快適な暮らし を守る下水道
計画の目標	「安全で安心な暮らしの実現」	「良好な環境の創造」 「快適で活力のある暮らしの実現」
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)	
主な事業	①浸水対策 ②地震対策 ③改築・更新	①汚水整備
全体事業費	14,564百万円	745百万円
中間評価	事業の 実施体制	高槻市社会資本総合整備計画評価委員会において実施
	実施時期	平成31年1月
	公表の方法	高槻市ホームページにて公表

定量的指標の現況値及び目標値

■防災・安全

指標	定量的指標	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
①	下水道による浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積(ha)/浸水対策を実施すべき面積(4548.49ha)	46.0%	48.8%	52.3%
②	超過降雨対策実施率 超過降雨対策完了済み箇所(箇所)/超過降雨対策を実施すべき箇所(2箇所)	0%	41.4%	100%
③	重要な管渠の耐震対策実施率 重要な管渠のうち、耐震化が行われている延長(km)/重要な管渠の延長(1.9km)	0%	54.9%	100%
④	長寿命化対策実施率 長寿命化対策完了済み箇所(箇所)/長寿命化を実施すべき箇所(828箇所)	0%	60.5%	100%

■社会資本

指標	定量的指標	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
①	下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	99.45%	99.75%	99.84%

交付対象事業の進捗状況(防災・安全)

A 基幹事業

番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間(年度)					全体 事業費 (百万円)	個別施設 計画 策定状況
			H27	H28	H29	H30	H31		
A07-001	高槻排水区 人孔接続管整備 浸水対策	6箇所 雨水排水施設	■	■	■	■	■	143	—
A07-002	摂津排水区 人孔接続管整備 浸水対策	2箇所 雨水排水施設				■	■	0	—
A07-003	前島排水区 浸水被害軽減施設の設計・建設	浸水被害軽減施設	■	■				2,477	策定済
A07-004	高槻排水区他 浸水被害軽減施設の計画策定	計画策定	■	■	■			57	未策定
A07-005	高槻排水区他 浸水被害軽減施設の設計・建設	浸水被害軽減施設		■	■	■	■	285	策定済
A07-006	高槻排水区他 浸水被害軽減施設の設計・建設	浸水被害軽減施設				■	■	0	未策定
A07-007	下水道総合地震対策事業の計画策定	計画策定				■		0	未策定
A07-008	下水道総合地震対策事業の設計・建設	L = 1.9 km	■	■	■	■	■	751	策定済
A07-009	ストックマネジメントの施設調査診断、計画策定	施設調査診断、計画策定		■	■	■	■	102	未策定
A07-010	長寿命化の施設調査診断	施設調査診断	■					15	—
A07-011	長寿命化のマンホールの蓋替え	828箇所	■	■	■	■		91	策定済
A07-012	長寿命化の下水道施設の更新	ポンプ場等下水道施設の更新	■	■	■	■		550	策定済
A07-013	ストックマネジメント計画に基づく改築	実施設計、改築				■	■	0	未策定
合計								4,471	

交付対象事業の進捗状況(防災・安全)

B 効果促進事業

番号	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設 計画 策定状況
			H27	H28	H29	H30	H31		
C07-001	内水ハザードマップ作成	4, 5 4 8 ha	■					13	—
C07-002	雨量・水位情報公開システムの構築	雨量・水位監視システム						0	—
C07-003	流出抑制施設の設置	流出抑制施設	■	■	■	■	■	36	—
C07-004	効果的に自助取組を導くための事業	止水板、浸透柵等				■	■	0	—
C07-005	長寿命化のための調査	施設情報	■	■				9	—
C07-006	ストックマネジメント計画のための調査	施設情報				■	■	0	—
合計								58	

交付対象事業の進捗状況(社会資本)

A 基幹事業

番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設 計画 策定状況
			H27	H28	H29	H30	H31		
A07-001	高槻処理区 汚水管整備	汚水管 L = 7, 649m	■	■	■	■	■	367	—
A07-002	中央処理区 汚水管整備	汚水管 L = 628m	■	■		■	■	169	—
合計								536	

定量的指標に関する事業の概要と整備効果(防災・安全)

■浸水対策

◆効果の発現状況:

- ・計画降雨対策に基づく雨水取口の整備により、浸水リスクが低減
- ・過去に浸水被害のあった地域における超過降雨対策の実施により、大雨時における市民の安全・安心を守るまちづくりに寄与
- ・地元住民や小中学生を対象とした現場見学会等を開催し、安全・安心に対する意識を高めている

◆主な工事

- ・雨水取口整備(前島2-3、前島2-6)
- ・安満遺跡公園内雨水貯留施設整備
- ・城跡公園内雨水貯留施設整備



雨水取口(前島2-3)



雨水貯留施設施工時
(安満遺跡公園内)



雨水貯留施設施工状況
(城跡公園内)



現場見学会開催状況

定量的指標に関する事業の概要と整備効果(防災・安全)

■耐震対策

◆効果の発現状況:

- ・耐震対策実施箇所において、大阪府北部地震による被災がなかった

◆主な工事箇所

- ・高槻中二号污水幹線



下水管継手の補強



下水管更正工事

定量的指標に関する事業の概要と整備効果(防災・安全)

■長寿命化対策

◆効果の発現状況:

- ・マンホールの蓋替えにより、機能不足が解消され、市民の安全・安心に寄与

◆主な工事箇所

- ・市内一円(合流区域)



既設人孔撤去状況



無収縮モルタル注入状況



取替え完了

定量的指標に関する事業の概要と整備効果(社会資本)

■未普及対策

◆効果の発現状況:

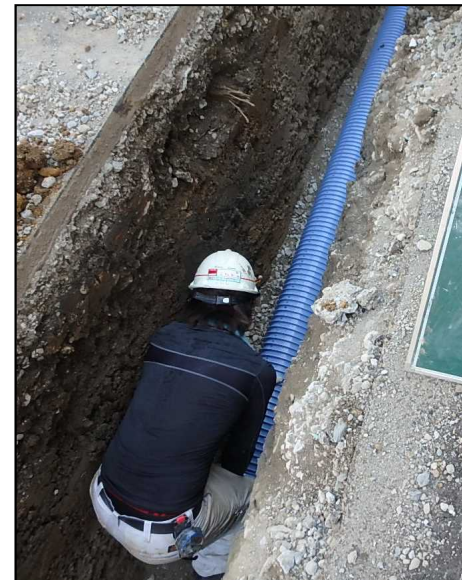
- ・汚水整備の概成

◆主な工事箇所

- ・市街化調整区域等



掘削状況



管布設状況

定量的指標の達成状況

■防災・安全

指標	定量的指標	中間 目標値	中間 実績値	目標値の実績値に差が出た要因
①	下水道による浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積(ha)/浸水対策を実施すべき面積(ha)	48.8%	47.3%	昨今の気象状況を鑑み、超過降雨対策を重点的に実施したことや、工事の進捗に遅れがみられたことなどから、現時点では目標値に達していないが、事業は確実に進捗している。
②	超過降雨対策実施率 超過降雨対策完了済み箇所(箇所)/超過降雨対策を実施すべき箇所(2箇所)	41.4%	50.0%	超過降雨対策工事(雨水貯留施設)が順調に進捗したため。
③	重要な管渠の耐震対策実施率 重要な管渠のうち、耐震化が行われている延長(km)/重要な管渠の延長(1.9km)	54.9%	46.0%	耐震対策実施対象路線の一部において、施工方法の検討等に時間を要したため。
④	長寿命化対策実施率 長寿命化対策完了済み箇所(箇所)/長寿命化を実施すべき箇所(828箇所)	60.5%	78.2%	長寿命化対策工事(マンホールの蓋替え)が順調に進捗したため。

■社会資本

指標	定量的指標	中間 目標値	中間 実績値	目標値の実績値に差が出た要因
①	下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	99.75%	99.57%	整備困難地域への施工方法の検討等に時間を要したため。

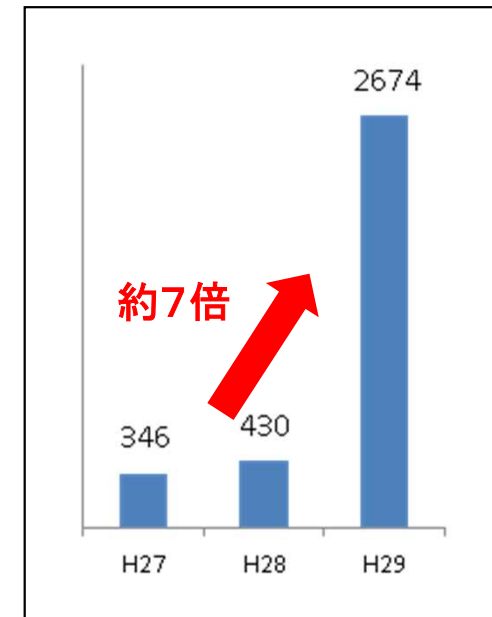
定量的指標以外の効果の発現状況(防災・安全)

■ 下水道施設の機能維持 ～ポンプ場施設の長寿命化～



定量的指標以外の効果の発現状況(防災・安全)

■市民の水害に対する意識が向上



出前講座受講者数の推移

■更なる浸水被害の軽減 ～流出抑制施設の整備～



雨水流出抑制施設(津之江小学校)

定量的指標以外の効果の発現状況(社会資本)

■下水道接続人口の増加

◆効果の発現状況:

下水道接続人口が97.3%(H27)から97.6%(H29)へと増加



魚とりでにぎわう芥川



芥川のアユ

今後の方針等

■防災・安全交付金

「安全で安心な暮らしの実現」を目指し、引き続き各種事業を推進していく

■社会資本

引き続き、下水道事業を着実に推進していく